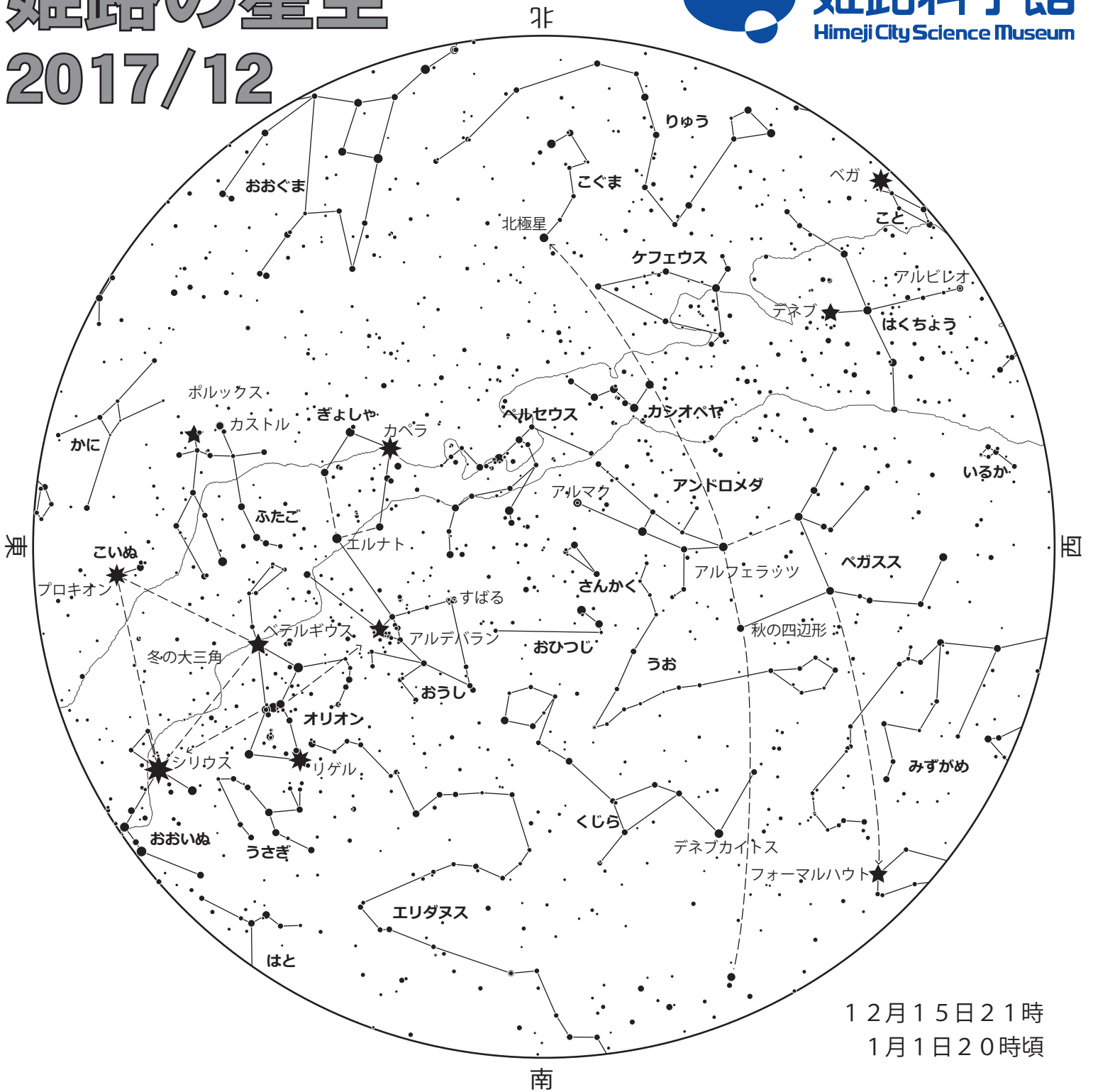


# 姫路の星空

## 2017/12



姫路科学館  
Himeji City Science Museum



12月15日21時  
1月1日20時頃

頭上から西の空には秋の星座が見えます。目印は秋の四辺形です。四辺形の右側の星から「へ」の字のさかさまのように続く星を合わせると、空飛ぶ馬ペガサス座、ペガサスの背中からおへそに線を引き、そのまま線をのばすとカシオペヤ座を通って北極星に届きます。北極星はカシオペヤ座からも探せますよ。北極星とカシオペヤ座の間にはケフェウス座、秋の四辺形から北東に向かって、アンドロメダ座とペルセウス座が続きます。秋の四辺形から南に向かって線を伸ばすと、秋の星座でたったひとつの1等星みなみのうお座のフォーマルハウトやくじら座の尾の星デネブカイトスが見つかります。

東の空の冬の星座は明るい星が多くにぎやかです。南東で結んだりボンのように見えるのがオリオン座です。2つの1等星ベテルギウスとリゲルが目立ちます。リボンの結び目の三つ星を下にのばすと、ひときわ明るくおおいぬ座のシリウスが見え、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスと合わせて冬の大三角ができます。三つ星を上へのばすと、おうし座のアルデバランや星の集まり「すばる」が見つかります。おうし座の北側の五角形ぎよしゃ座にはカペラが目立ち、オリオンの左側にはふたご座のカストル、ポルックスがなかよくならんでいます